

平成28年度 当初予算の概要

村の財政状況は、借金を返すためのお金である公債費の負担の減少などにより比較的安定しているものの、収入においては村民のみなさんからいただく村税が、昨冬の低気圧の影響によるホタテ貝の減産による影響などで減収が見込まれ、また、村の収入の多くは依然として国からの地方交付税等に依存した財政構造となっており、将来にわたって楽観できる状況にはありません。したがって、新たな時代背景を想定しながら活力ある地域を維持していくためには、限られた財源の中で事業効果を最大限に発揮できるよう創意と工夫を凝らし、引き続き堅実な財政運営を行っていく必要があります。

平成28年度は村政運営の指針となる「第7次猿払村総合計画」の初年度であり、計画に掲げた様々な施策を遂行するとともに、人口減少問題や移住・定住の促進など時代の変化に対応しつつ、村民からの要請や効果及び緊急度を考慮のうえ当初予算を編成しております。特に、懸案事項であります「小規模多機能型居宅介護等施設」の建設につきましては、平成28年度からの2ヶ年での事業実施を予定しており、要支援・要介護者や認知症高齢者などの方々が「住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることができる」地域づくり、そして、障がいをお持ちの方々も地域に貢献しながら安心して生活できる「ノーマライゼーションのまちづくり」に取り組むこととし、引き続き「誰にでもやさしいまちづくり」を目指してまいります。

村民の皆様には予算を通して村の財政状況をご理解して頂くとともに、予算の性格や村が行う事業などに興味を持っていただき、村政への積極的なご参加とご協力をお願いいたします。



平成28年度 猿払村の予算総額は

69億1,452万円です。

会計名	平成28年度	平成27年度	増減額	増減率
一般会計	49億6,450万円	46億8,800万円	2億7,650万円	5.9%
特別会計	13億1,232万円	12億8,208万円	3,024万円	2.4%
簡易水道	2億8,340万円	2億6,882万円	1,458万円	5.4%
下水道	1億9,436万円	1億9,180万円	256万円	1.3%
国民健康保険	5億 507万円	5億 312万円	195万円	0.4%
介護保険	2億9,595万円	2億8,556万円	1,039万円	3.6%
保険事業勘定	2億4,913万円	2億5,169万円	▲256万円	▲1.0%
介護サービス事業勘定	4,682万円	3,387万円	1,295万円	38.2%
後期高齢者医療	3,354万円	3,278万円	76万円	2.3%
国民健康保険病院事業会計	6億3,770万円	6億4,862万円	▲1,092万円	▲1.7%
合計	69億1,452万円	66億1,870万円	2億9,582万円	4.5%

予算とは1年間（4月から翌年の3月まで）の収入と支出を見積もることです。新しい年度が始まる前に、1年間にどのくらいの収入があるのか、また行政サービスをどのように行うのか計画し、その費用を見積もります。これらの内容をまとめたものが予算書で、これを村議会で審議し予算が決まります。

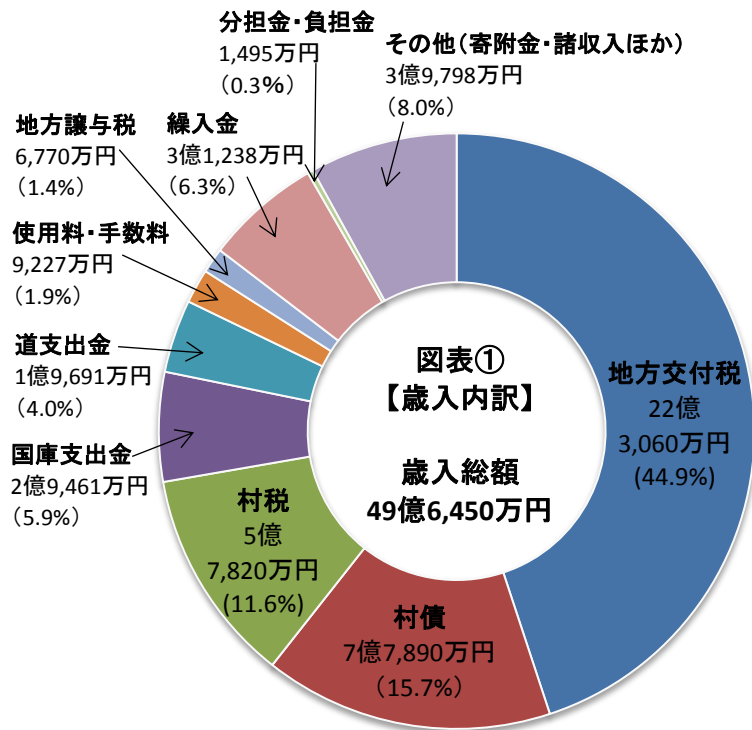
村の会計は「一般会計」と「特別会計」の大きく2つに分かれています。一般会計とは、村の基本的な仕事をするための予算で、皆さんから納付していただく村税や国・道からのお金などが主な財源です。

一方で特別会計は、村が特定の事業を行なう場合又は、保険料や使用料など特定の収入（歳入）をもって特定の支出（歳出）に充て、一般会計と区分して経理を明確にするために法令や条例に基づいて設ける会計です。猿払村には「簡易水道事業」「下水道事業」「国民健康保険」「介護保険（事業勘定）」「介護保険（サービス事業勘定）」「後期高齢者医療」6つの特別会計があります。

その他に、公営企業として他の会計とは異なった経理をする必要がある「国民健康保険病院事業会計」があります。

平成28年度当初予算の総額は、村民サービスの充実や小規模多機能型居宅介護等施設などの普通建設事業の増加などにより、平成27年度に比べ2億9,582万円増の69億1,452万円を計上しました。そのうち一般会計の予算規模は49億6,450万円で前年度と比べ2億7,650万円の増額であります。

一般会計【歳入（収入）】



地方交付税：自治体間の格差をなくすために、国税を再配分して交付されるお金です。

☆村税：皆さんから納めていただく税金です。

☆村債：公共事業を行うため、国などから借り入れるお金（借金）です。

☆国庫支出金・道支出金：国や道から支給されるお金で、使い道が決められています。

☆使用料・手数料：村営住宅やデマンド自動車、火葬場等の使用料のほか保育料等があります。

☆地方譲与税：国税として徴収後、自治体へ配分されるお金です。揮発油税や自動車重量税があります。

☆繰入金：予算に不足が生じたとき、特別会計から財源を移行したり、基金（貯金）を取り崩して生じるお金です。

☆分担金・負担金：事業を行う上で、皆さんからいただくお金です。

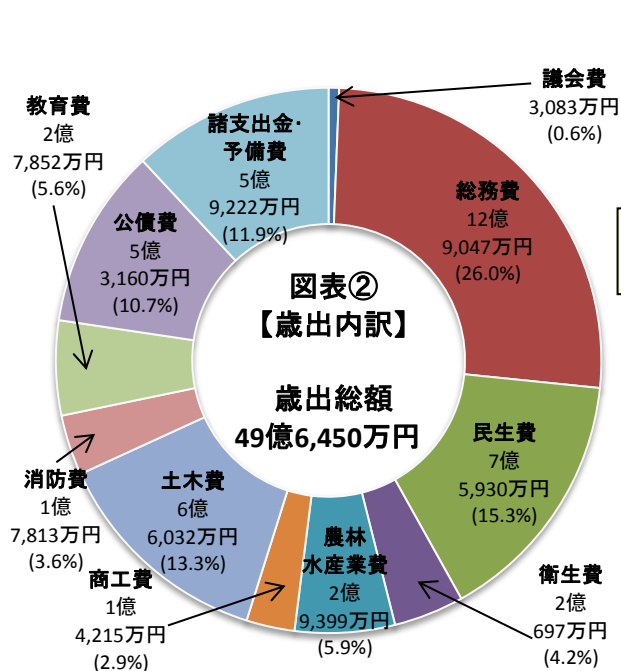
☆その他：各種利子収入、財産売却収入や寄付金などです。

一般会計の歳入においては、自主財源である村税が、前年度比で▲8,180万円（▲12.4%）の増となる5億7,820万円を計上しました。歳入の中で合わせて56.2%を占めている地方交付税・国庫支出金・道支出金・地方譲与税は国や道から支出されるもので、村の財政はそれらのお金に依存しているのが現状です。

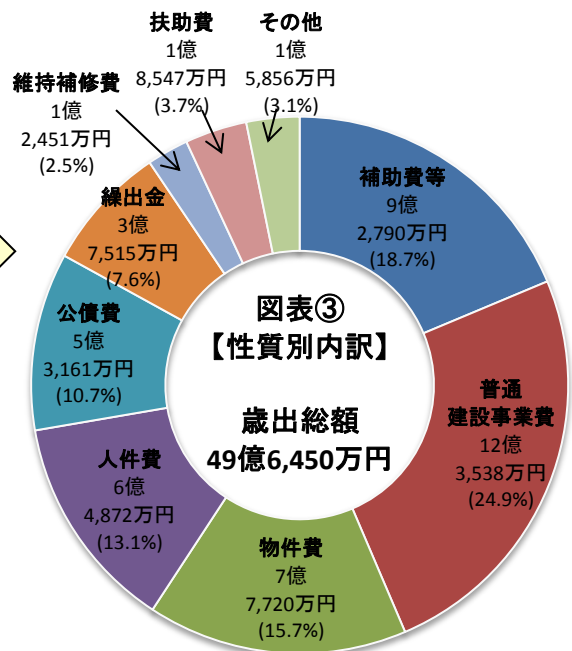
一般会計【歳出（支出）】

図表②、図表③のとおりとなっています。

- ・普通建設事業費・・・12億3,538万円【前年度比：3億6,921万円（42.6%）増】
- ・人件費・・・6億4,872万円【前年度比：2,631万円（4.2%）増】
- ・公債費・・・5億3,161万円【前年度比：▲3,460万円（▲6.1%）減】



性質別に
分けると



図表②は費用ごとの村の歳出内訳、図表③は歳出を性質別に分けたものです。平成28年度は普通建設事業費は前年度比42.6%増の12億3,538万円を計上しました。これは小規模多機能型居宅介護等施設の建設や地域優良賃貸住宅の建設、地域情報通信基盤機器の更新といった大型事業が行われるためです。近年は、産業基盤や観光施設の改修など大型事業を実施しており、借金を返すためのお金である公債費が緩やかに上昇することが見込まれていますが、各種補助金や交付税措置のある有利な起債を利用し、堅調な財政運営に努めています。

平成28年度予算をもとに行われる予定の主な事業

【一般会計】

◆高齢者福祉に関する事業

- ・小規模多機能型居宅介護等施設建設事業：4億460万円
小規模多機能型居宅介護施設と地域の交流施設を併設した施設の建設工事（2カ年計画）

◆公共交通に関する事業

- ・福祉輸送事業（福祉タクシー）運行業務委託：724万円
利用料金1回300円、70歳以上（住民税非課税世帯）などへ12回分の無料乗車券を配布
- ・村有バス格納車庫新築工事：6,580万円
車両7台（村有バス3台・福祉タクシー等4台）の格納車庫の建設工事

◆子育てに関する事業

- ・天北宗谷岬線バス通学定期運賃補助金：1,043万円
高校通学定期運賃の8割を助成、助成月数の拡充（10カ月⇒12カ月）
- ・子ども医療費助成金：672万円
乳幼児から小中学生までの医療費助成（所得制限無し）、現物給付方式（手続き簡素化）の継続

◆情報化に関する事業

- ・地域情報通信基盤機器更新工事：9,500万円
光ネットワーク関連機器の更新（サーバー、ネットワーク機器、全国瞬時警報システム機器ほか）工事

◆移住に関する事業

- ・移住促進事業：1,890万円
移住促進のためのイベント（感謝イベント、移住体験ツアー）等の実施

◆産業（農業・漁業・商工業）に関する事業

- ・草地力アップ事業補助金：800万円
草地更新に係る道営事業受益者負担25%補助、自力更新1ヘクタール当たり3万円を補助
- ・農業後継者支援事業補助金：400万円、営農環境整備補助金：100万円
農業後継者に対する生乳生産量増加に係る畜舎整備費用、新規就農者に対する営農環境整備等の経費の補助
- ・道営草地畜産基盤整備事業負担金：2,600万円
公共牧場（狩別地区）の草地整備改良等に係る道営事業の地元負担金
- ・地域水産物供給基盤整備事業負担金：1,300万円
知来別・浜鬼志別・浜猿払漁港の岸壁・防砂堤整備等に係る道営事業の地元負担金
- ・地域振興事業費（暮らし応援商品券発行事業）補助金：450万円
暮らし応援商品券発行事業に係る補助金

◆観光に関する事業

- ・観光協会補助金：3,246万円
観光協会運営費・観光まつり事業費等の補助金
- ・観光誘客促進事業実行委員会補助金：600万円
観光誘客促進事業（宿泊客利用促進・旅行会社誘客促進・地場産品販売促進）の実行委員会へ対する補助金

◆道路・橋りょうに関する事業

- ・宅地分譲地道路改良舗装工事：1,480万円（浜猿払地区）、1,580万円（知来別地区）
宅地分譲（知来別地区・浜猿払地区）に係る道路改良舗装工事
- ・除雪機械購入：4,870万円
老朽化している除雪機械（除雪トラック）1台を更新
- ・防犯街路灯LED化工事：1,740万円
防犯街路灯として設置している照明のLED化工事（鬼志別地区181基予定）
- ・橋梁修繕工事：3,600万円
老朽化している学校橋（狩別地区）の改修工事
- ・鬼志別13号線道路改良事業：3,000万円
幅員が狭く通行に支障をきたしている鬼志別13号線の改良工事

◆住宅に関する事業

- ・地域優良賃貸住宅整備事業新鬼志別団地新築工事：2億1,820万円
単身者向け木造2階建住宅（1LDK）2棟16戸の建設工事
- ・苗畑団地長寿命化改善屋根及び外壁改修工事：2,950万円
老朽化に伴う公営住宅（平成4年建設）3棟6戸の屋根及び外壁改修工事
- ・民営賃貸住宅建設促進助成事業：2,800万円
民間活力により村内で不足している賃貸住宅ストックの整備促進（4戸×2棟）のための助成

◆教育・体育に関する事業

- ・浜鬼志別小学校校舎暖房設備改修工事：1,040万円
老朽化している浜鬼志別小学校の暖房設備（FF式真空暖房機）の更新工事
- ・村営スキー場索道設備改修工事：760万円
村営スキー場索道設備（リフト制御盤・リフト支柱ほか）の改修工事

【特別会計等】

【簡易水道事業会計】

- ・簡易水道等施設整備生活基盤近代化事業：2,241万円
浅茅野・浅茅野台地地区における配水管路等整備に係る道営事業の地元負担金
- ・知来別配水池非常用発電機設置工事：2,511万円
知来別配水池における停電時の断水防止のための非常用発電機の設置工事

【下水道事業会計】

- ・宅地分譲地下水道整備工事：230万円（知来別）・260万円（浜猿払）
宅地分譲（知来別地区・浜猿払地区）に係る下水道整備工事

【国保病院事業会計】

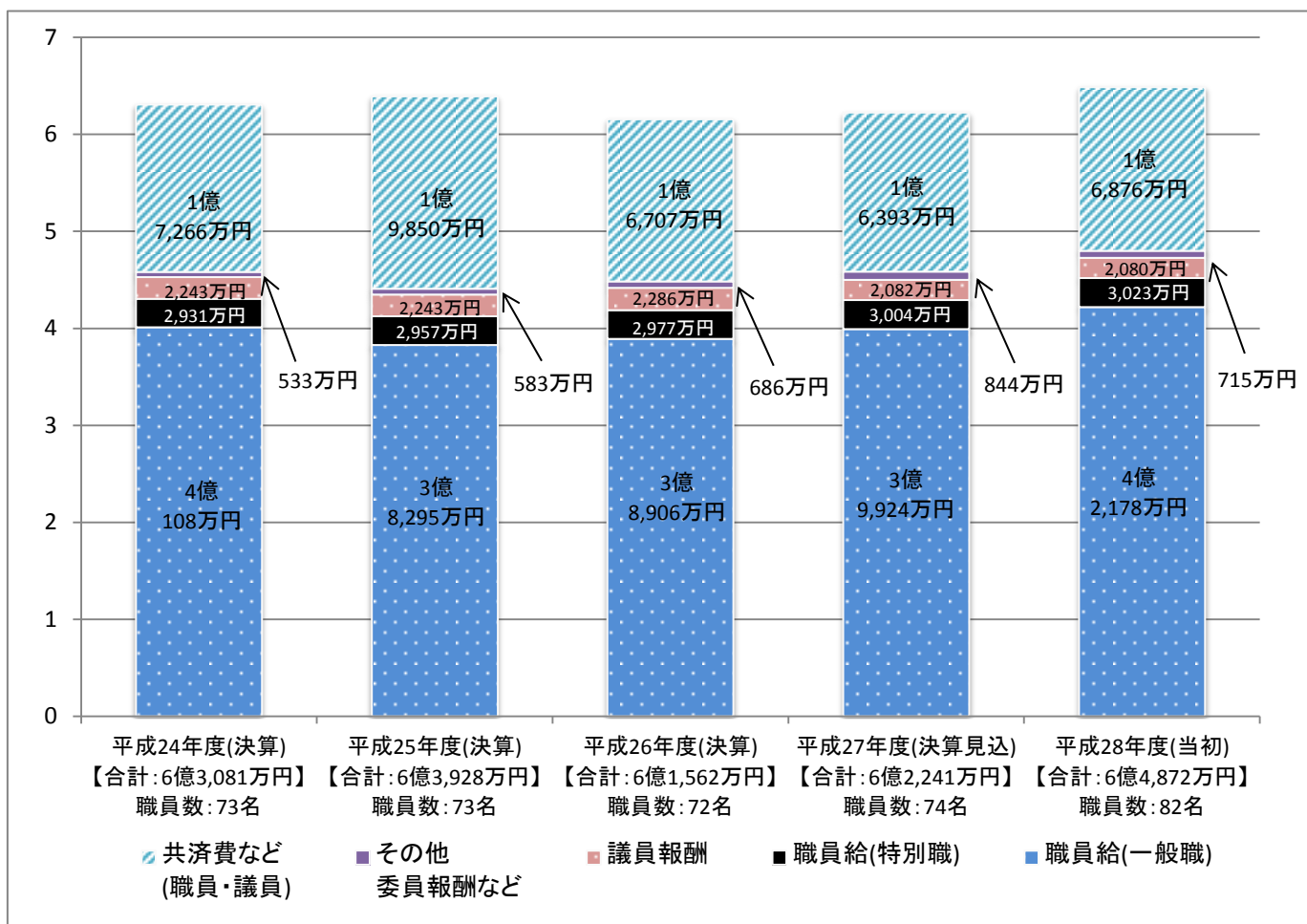
- ・屋上防水工事：2,715万円
国保病院の屋上全面ウレタン防水工事

★人件費及び職員数の推移、現況について（※図表④参照）

平成28年度の人件費については一般会計で6億4,872万円であり前年度と比較し2,632万円（4.2%）増加しました。職員数は定年退職となる職員の年金支給開始年齢が段階的に引き上げられたことに伴い定年退職となる職員が再任用を希望する場合、年金支給開始年齢に達するまでの間再任用され、一方、職員構成に歪みが生じないように新規採用者を最小限補充しているほか、近年は多様化する行政ニーズに対応するため専門技術職員の採用をしております。

平成27年度末での定年退職者（一般会計）は2名（再任用予定）であり、平成28年度の新規採用予定は一般事務3名、専門職8名（建築技師1名、保育士2名、保健師1名、栄養士1名、介護福祉士3名）の計11名（うち一般会計8名）となっております。

図表④ 【人件費内訳・推移】

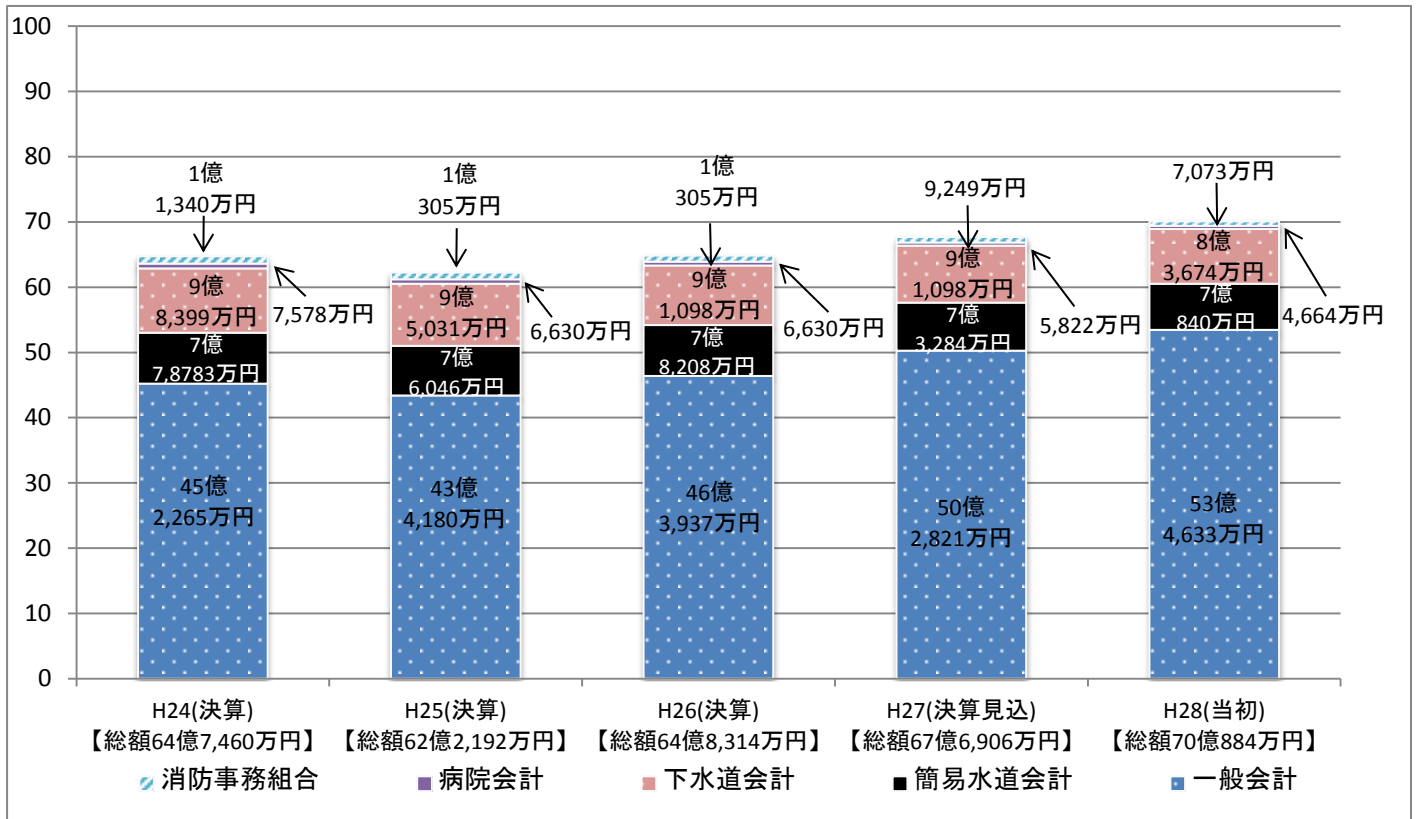


★村の借金残高について（※図表⑤参照）

借金をする際は、過疎地域などの地域に指定された市町村のみが発行できる「過疎債」や「辺地債」を活用しています。これらは返済しなければならない額の一部が、のちに交付税として交付されるという利点があります。そのため、今後交付税として補てんされる見込額や転貸債分の約38億円（借金残高の約55%）を差し引くと、実質的な残高は約32億円となります。平成28年度の借金（起債発行）については一般会計で7億7,890万円を見込んでおり、前年度当初との比較で▲1億6,050万円（▲17.1%）の減額となっております。また、平成28年度の返済（償還）額は5億3,160万円を予定しています。

総額ではピーク時の平成17年度末には約100億円以上もの借金がありましたが、図表⑤のとおり62～70億円で推移しており、近年は、漁港・上架施設といった産業基盤や観光施設の改修、漁協水産加工場建設（転貸債）、小規模多機能型居宅介護等施設の建設など大型事業が行われるため増加傾向にあります。

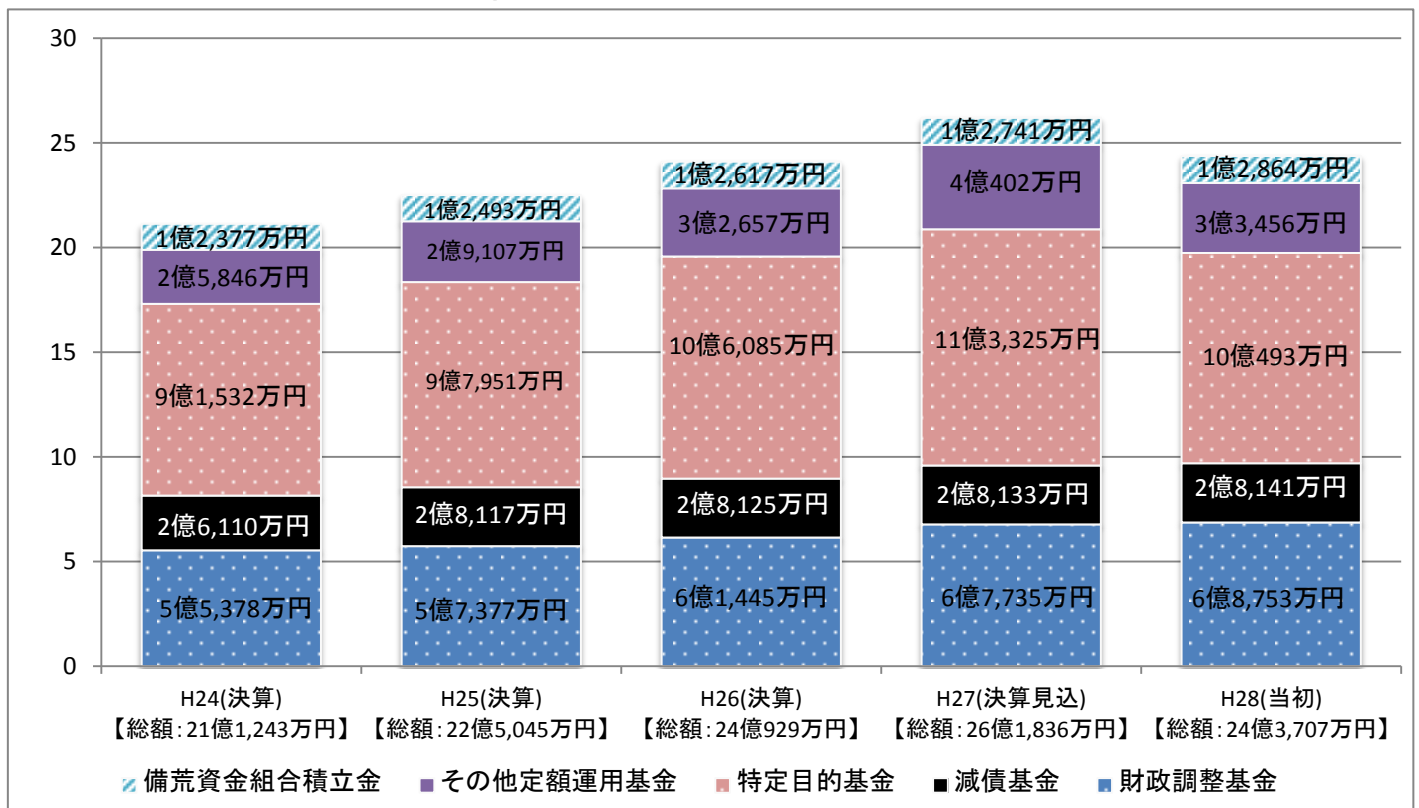
図表⑤ 【村の借金（起債）残高の推移】



★村の貯金（基金）について（※図表⑥参照）

平成28年度については基金全体で1億3,110万円の積立、3億1,238万円の取り崩しの予定となっており、平成28年度末の残高は前年度末見込と比較して▲1億8,129万円減の24億3,707万円となる見込です。平成28年度は地域情報通信基盤機器更新の財源として、地域情報通信施設基金より9,500万円を取り崩し財源に充てるなどで特定目的基金の全高が減額となります。今後も計画的な積立を行うほか、基金を極力使わない予算づくりを行っていくことも必要となります。

図表⑥ 【村の貯金（基金）の推移】



【財政調整基金】 災害や急な工事などで、一般財源に不足が生じた場合に財源として充てることのできる基金です。

【減債基金】 村の借金(起債)を返すために充てることのできる基金です。

【特定目的基金】 特定の目的に限り財源として充てることのできる基金です。